

学習成果の披露 競技会 発表会

1 高校生介護技術コンテスト

今週は、11 日月曜日に高校生介護技術コンテスト島根県大会が出雲西高等学校で、12 日火曜日に家畜審査競技大会が出雲市の畜産技術センターで行われ、本校からも総合学科福祉系列の代表生徒が介護技術コンテストに、生物生産科の希望者 2 名が家畜審査競技に参加しました。介護技術コンテストは、最優秀校が山口市で行われる中国地区高校生介護技術コンテストへの出場資格が与えられ、さらに中国地区での最優秀校は本年度山口県で行われる第 28 回全国産業教育フェア山口大会への出場となるので、参加した各学校ともこの県大会に向けて準備を重ねて臨んできた様子がかうかがえました。

島根県大会は今年で 3 回目の大会となり、本校は過去 2 年 3 位、3 位と続いていたので、“今年こそは優勝を”と願って顧問、生徒とも早いうちから計画的に取り組んできたようです。前開き（ボタン型）パジャマの上着の着用介助を行い、途中段差がある通路を車いすで部屋の前まで移動する、などの与えられた課題をもとに、出雲西高校、邇摩高校、明誠高校、益田翔陽高校と本校の 5 校で福祉を学ぶ生徒が 3 人一組で介護技術を競いました。審査項目は、コミュニケーション、プライバシーの保護、心身の状況に応じた介護、エビデンスに基づく介護など 8 つの項目で行われます。利用者さんの身体状況・心身機能等を踏まえて、新聞を読むことが趣味であるといった個人因子や、妻や孫の面会などの環境因子でコミュニケーションをとりながらコンテストが進んでいきます。「今日担当させていただく〇〇と、□□です。よろしくをお願いします。」「お風呂は気持ちよかったですか?」「今日奥様が面会にいらっしゃるのですね? 楽しみですね」などと利用者さんと会話をしながら、7 分間で勝負します。

7 分間の競技後は、2 分間で今行った介護に対してのエビデンスや配慮等についてアピールします。本校は、こうした生徒の説明やプレゼンを、基本的にノーペーパーで行うようにしています。見てもチラッとメモを見る程度です。立派にアピールしました。結果は、自分たちの願いに届かなかったのですが、堂々と自分たちの技術を披露し立派でした。毎年このコンテストに参加していますが、年々技術が向上しているように感じ、高校生がこうやって介護技術を向上させようと頑張っている姿を頼もしく感じました。

2 校内意見発表大会

本日、校内意見発表会が行われました。5 月の連休を利用して各自が農業・農村、環境問題、農村文化等に係る意見文を書き、各クラス代表の 1~2 名が本日全校生徒の前で発表しました。この発表会は、内容ごとに、Ⅰ類：生産・流通・経営区分、Ⅱ類：開発・保全・創造区分、Ⅲ類：ニューマンサービス区分の 3 つに分けられており、それぞれの区分ごとに最優秀者が決まり、県大会へ出場することとなります。発表題目から発表者の思いが感じることができるのでしょうか。

区分	クラス	発表者	発表題目
Ⅰ類	総合学科 3 年 2 組	門 脇 優 里	良い目を養おう
	総合学科 2 年 2 組	今 岡 悠 介	農産物のありがたさ
	総合学科 2 年 1 組	横 田 ひなの	“食”のありがたさ
	総合学科 2 年 1 組	加 藤 亜佑美	いただきます。
	生物生産科 3 年	岩 谷 凌	トルコキキョウが農家を救う
	生物生産科 1 年	佐々木 楓	おいしい野菜の作り方
	生物生産科 2 年	仲 野 つばさ	これからの農業
	総合学科 1 年 1 組	上 田 ひかる	食品の活用
Ⅱ類	環境土木科 1 年	加 茂 鈴 香	夢
	生物生産科 2 年	柳 田 美 鈴	家庭でネギ栽培
	総合学科 1 年 2 組	朝 木 翔 子	職場体験を通して
	環境土木科 2 年	森 山 拓 人	地球温暖化から考える土木技術の必要性
Ⅲ類	総合学科 3 年 1 組	野々内 瑠 香	ボランティア～地域の希望～
	環境土木科 3 年	安 井 駿	「働く」ということ
	総合学科 3 年 2 組	佐 藤 美 羽	日本人の和菓子離れ
	総合学科 1 年 2 組	祖 田 ももこ	この島根にのこって
	総合学科 1 年 1 組	河 野 恋	変わりつつある自然と子どもたち
	生物生産科 1 年	小 笹 萌 心	松江蓆行列